

# ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 保健医療学部

リハビリテーション学科

義肢装具学専攻

名 前 大塚 博

作成日 2023年9月28日

## 1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

### 1) 科目担当

下記科目を担当し、シラバスの作成・見直し、到達目標達成に向けた教授法の工夫と実施、及び成績評価を行っている。

- ・システム工学（主担当）
- ・義肢装具材料力学
- ・義肢装具基礎演習Ⅰ（主担当）
- ・見学実習Ⅰ（主担当）
- ・義肢装具製作技術入門
- ・義手学
- ・最新の義肢装具・支援機器（主担当）
- ・卒業研究

### 2) 学年担任

第1学年を担当し、下記を実施している。

- ・入学時ガイダンス
- ・保護者会（前期・後期）
- ・履修登録確認
- ・面談指導
- ・成績低迷者指導
- ・保護者連絡
- ・ホームルーム

### 3) 委員会

- ・FDSD推進委員会：授業参観、研修会、定期刊行物への執筆
- ・入試委員会：入学試験の評価、入学試験に関わる課題協議、入学試験問題の校正
- ・倫理審査委員会：研究倫理審査

### 4) その他

- ・国家試験対策として工学系問題の教材を作成し、対策講座を実施している。

## 2. 理念（教育に対する考え方）

義肢装具士は義肢・装具を提供することで障害をもつ方々の生活をサポートしている。直接身体に装着して使うものなので、快適さが求められる。義肢装具士は熟練した技術でこの快適さをカタチにすることができる。学生には、将来あるべき義肢装具士像について考えさせながら、基礎となる疾患の理解、義肢・装具の材料、部品の選定の考え方及び対象者への医療人としての対応を身に着けることが教育目標と考える。

## 3. 方法（教育方法において大切にしていること）

### 1) 個別対応

学生の理解度が違うことを念頭に指導する。

2) フォローアップ

特に1年生は、様々な出来事がきっかけで学習意欲の低下につながりやすく、学生の表情や行動を中止、必要に応じてフォローアップする。

3) フィードバック

義肢装具学専攻のディプロマポリシーの「義肢装具」を必要とする対象者（人間）について、心理的・社会的・文化的側面から多面的・総合的に理解できる知識を修得していること」とあるように学生の専門職としての実践的技能の評価とフィードバックを行う。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

担当科目に対して、おおむね良好な評価になっている。授業中のレスポンスを次回に生かすようにしている。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

1) 短期目標と達成時期

- ・到達目標と成績評価法の見直し
- ・達成時期：2025年度

2) 中期目標と達成時期

- ・実習授業でのアクティブラーニング導入
- ・達成時期：2027年度

\* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

【添付資料】

\* TPの記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。  
(シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、すぐに確認できるようにしておきます。)